

SDS 登録 No.00330193-JP1

製品名 レクサス純正インテリアレザーコート A 液

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	レクサス純正インテリアレザーコート A 液
製品分類	皮革用コート剤
主な用途	自動車用レザーコート剤
会社名	シーシーアイ株式会社
住所	〒501-3923 岐阜県関市新迫間 12
担当部門	カーケア用品事業部 技術部 技術グループ
電話番号	0575-24-4632
FAX 番号	0574-24-7223
発行日	2020 年 3 月 12 日

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性	火薬類	分類対象外
	可燃性・引火性ガス	分類対象外
	可燃性・引火性エアゾール	分類対象外
	支燃性・酸化性ガス	分類対象外
	高压ガス	分類対象外
	引火性液体	区分外
	可燃性固体	分類対象外
	自己反応性化学品	分類対象外
	自然発火性液体	区分外
	自然発火性固体	分類対象外
	自己発熱性化学品	区分外
	水反応可燃性化学品	分類対象外
	酸化性液体	分類対象外
	酸化性固体	分類対象外
	有機過氧化物	分類対象外
	金属腐食性物質	区分外
	健康に対する有害性	急性毒性(経口)
急性毒性(経皮)		区分外
急性毒性(吸入:ガス)		分類対象外
急性毒性(吸入:蒸気)		区分外
急性毒性(吸入:粉じん)		分類対象外
急性毒性(吸入:ミスト)		区分外
皮膚腐食性・刺激性		区分外

SDS 登録 No.00330193-JP1

製品名 レクサス純正インテリアレザーコート A 液

	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分外
	呼吸器感作性	区分外
	皮膚感作性	区分外
	生殖細胞変異原性	区分外
	発がん性	区分外
	生殖毒性	区分外
	特定標的臓器毒性(単回暴露)	区分外
	特定標的臓器毒性(反復暴露)	区分外
	吸引性呼吸器有害性	分類できない
環境に対する有害性	水生環境急性有害性	区分外
	水生環境慢性有害性	区分外
ラベル要素	なし	
注意喚起語:	なし	
危険有害性情報:	なし	

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 混合物
含有成分及び含有量

成分名	含有量 (wt%)	CAS No	化審法 No	労安法 (No)	PRTR 法 (No)	毒劇法
純水	90~95	7732-18-5	—	—	—	—
フッ素樹脂	1~5	—	—	—	—	—
アクリルシリコン	1~5	—	—	—	—	—

注記 化審法 No: 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)官報告示番号
 労安法: 労働安全衛生法
 PRTR 法: 特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の改善に関する法律
 毒劇法: 毒物及び劇物取締法

4. 応急措置

吸入した場合

特に応急措置の必要はないものと考えられる。
 気分が悪い時などは医師の診断を受けるのが望ましい。

皮膚に付着した場合

特に応急措置の必要はないものと考えられる。
 気分が悪い時などは医師の診断を受けるのが望ましい。

眼に入った場合

特に応急措置の必要はないものと考えられる。
 気分が悪い時などは医師の診断を受けるのが望ましい。

飲み込んだ場合

特に応急措置の必要はないものと考えられる。

SDS 登録 No.00330193-JP1

製品名 レクサス純正インテリアレザーコート A 液

気分が悪い時などは医師の診断を受けるのが望ましい。

予想される急性症状及び遅発性症状

吸入した場合 データなし

皮膚に付着した場合 データなし

眼に入った場合 データなし

5. 火災時の措置

消火剤 二酸化炭素/粉末消火剤/散水/耐アルコール性泡消火剤/等。

使ってはならない消火剤 なし。

火災時の特有の危険有害性 火災によって刺激性、毒性、又は腐食性のガスを発生するおそれがある。

特有の消化方法 なし。

消火を行う者の保護 消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置**人体に対する注意事項**

付近の着火源を取り除き、風上から作業する。状況に応じて保護具(呼吸用保護具、手袋、長靴、眼鏡、マスク)を着用し、当該物の吸入や直接接触を避ける。

環境に対する注意事項

速やかに回収し拡散防止に努める。

回収・中和方法

多量の場合はバキューム等で汲み上げ回収する。少量の場合は、流路を毛布、土嚢等を用いて堰き止める。少量の場合、乾燥砂、土、おがくずなどで覆い、シャベル、箒でかき集め密閉できる容器に回収する。

封じ込め及び浄化の方法・機材

河川、湖沼へ流入した場合には、必要に応じ、消防署、都道府県市 町村の公害関連部署、河川管理局、水道局、保健所、農協、漁協等に連絡をとる。少量流出の場合はおが屑、土砂、パーライト等を混ぜ、モルタル状として凝集回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意**取扱い****技術的対策**

鉄、銅、亜鉛、アルミ等の多価金属イオンは着色・ゲル化等の現象を起こす可能性があるため、製品貯蔵・配管・ブレンダー等の選択には注意が必要。

スプレーミストや蒸気を発生する作業の場合は局所排気装置を設置する。

注意事項

換気の良い場所で使用すること。容器を転倒・落下させる、引きずる又は容器に衝撃を加える等の粗暴な取り扱いをしない。

安全取扱注意事項

眼、皮膚への接触を防止するため、状況に応じ保護手袋、保護眼鏡等の保護具を着用すること。保護具は第8章を参照。蒸気やミストを吸入しない。肌や目との接触を避ける。環境汚染を避けるために、

SDS 登録 No.00330193-JP1

製品名 レクサス純正インテリアレザーコート A 液

適切な容器を使用する。

保管**技術的対策**

皮張り防止のため、使用後は密閉して貯蔵する。

安全な保管条件

保管時の温度が5℃以下、又は35℃以上にならないようにする。凍結、直射日光を避け屋内に保管する。
 開封した使用中の包装容器に、ゴミ等が入らないようにする。

安全な容器包装材料

耐水性・耐久性のある容器を使用し、金属との接触はなるべく避けるようにすること。

8. 暴露防止及び保護措置**管理濃度**

設定なし

許容濃度

データなし

設備対策

特別な対策を要さない。

保護具

呼吸器用の保護	不要。
手の保護具	保護手袋の着用が望ましい。
眼の保護具	保護眼鏡の着用が望ましい。
皮膚及び身体の保護具	適切な保護具の着用が望ましい。

9. 物理的及び化学的性質

外観	微白濁～褐色液体
臭い	無臭
融点	データなし
沸点	100℃
蒸気圧	データなし
密度	1.0
pH	データなし
引火点	なし
溶解性	水に溶解
爆発範囲	なし

10. 安定性及び反応性

安定性	通常取り扱い条件では安定
危険有害反応可能性	なし
避けるべき条件	高温暴露
混触危険物質	微細な活性金属、アルカリ、アルカリ土類金属。

SDS 登録 No.00330193-JP1

製品名 レクサス純正インテリアレザーコート A 液

危険有害な分解生成物

高温で分解して以下の有害物質を発生する可能性がある。

280℃以上 → フッ素樹脂モノマー、フッ化カルボニル 450℃以上 → フッ化水素 (HF)

11. 有害性情報

製品に対する有害性情報

急性毒性(経口、経皮、吸入(蒸気、ミスト))

全成分につき区分外。

皮膚腐食性、刺激性

全成分につき区分外。

眼に対する重篤な損傷・眼刺激性

全成分につき区分外。

呼吸器・皮膚感作性

全成分につき区分外。

生殖細胞変異原性

全成分につき区分外。

発がん性

全成分につき区分外。

生殖毒性

全成分につき区分外。

特定標的臓器・全身毒性(単回暴露)

全成分につき区分外。

特定標的臓器・全身毒性(反復暴露)

全成分につき区分外。

12. 環境影響情報

製品に対する有害性情報

水棲環境急性・慢性有害性

全成分につき区分外。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。

容器・包装

容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。空容器を廃棄する時は、内容物を完全に除去した後に処分する。

14. 輸送上の注意

国際規制

SDS 登録 No.00330193-JP1

製品名 レクサス純正インテリアレザーコート A 液

国連番号 非該当

国連分類 非該当

容器等級 非該当

海洋汚染物質 非該当

国内規制

何れの規制にも該当しない。

15. 適用法令

船舶安全法 非該当

消防法 非該当

航空法 非該当

労働安全衛生法 非該当

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法) 3. 組成及び成分情報に記載

16. その他の情報**参考資料**

溶剤便覧

急性中毒処置の手引

GHS 分類結果データベース (独立行政法人製品評価技術基盤機構ホームページ)

GHS に基づく化学品の分類方法 (JIS Z7252:2014)

GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法 (JIS Z7253:2012)

注意 記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては、如何なる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の取り扱いを対象としたものですので、特別な取り扱いをする場合には新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取り扱い願います。